

有限会社朝霧牧場 環境活動レポート

平成 17 年 8 月 31 日

環境方針

人々の生活や生産活動から発生する有機性廃棄物を優良なコンポストに変え、農業振興発展及び緑化事業に寄与する完全循環型のトータルシステムにより、地球環境全体に貢献することを基本方針とする。

廃棄物の適正処理及び管理体制の整備を環境に配慮し企業活動を取組む。

環境法令遵守による廃棄物の更なる適正処理に努める。

有機性廃棄物から高品質コンポストを製造、販売し環境負荷の少ない農業振興及び緑化事業に努める。

管理体制を整備向上による適正管理に努める。

地域社会の一員として地域の環境保全に努める。

社員に対し継続的に環境に関する教育を行い、環境保全に関する意識の向上に努める。

平成 17 年 5 月 24 日 制定

有限会社朝霧牧場

代表取締役 箕 威頼

署名

箕 威頼

事業概要

( 1 ) 事業所名

有限会社朝霧牧場

代表取締役 箕 威頼

( 2 ) 所在地

静岡県富士宮市人穴 2 0 3 番地の 5 1

( 3 ) 環境保全関係の担当者連絡先

担当者 箕 威頼

連絡先 電話 : 0544-52-0212 FAX : 0544-52-1122

e-mail : t-mino@asagiri-f.co.jp

(4) 敷地面積 44,000m<sup>2</sup>  
 サイト面積 4,700m<sup>2</sup>

(5) 事業概要  
 産業廃棄物処分量  
 中間処分 肥料製造処分

(6) 事業内容(年間)  
 汚泥処分量 8,000t  
 肥料製造量 950t  
 従業員 10名

環境目標とその実績

当社は以下の目標を掲げて環境活動に取り組みます。

2005年度 環境目標

環境目的	環境目標	実績	環境目標	環境目標
(中期目標)	(2005年度)	(6月～8月)	(2006年度)	(2007年度)
1 受入廃棄物処分量の拡大 04年度比07年度までに10%増	04年度比3%増	04年度対比 5.04%増	04年度比6%増	04年度比10%増
2 総排水量を受入処分高比5%削減 04年度実績に対し07年度までに	04年度比1%減	流量計未設置	04年度比3%減	04年度比5%減
(受入処分高1億円当たり)				
3 CO <sub>2</sub> 排出量受入処分高比3%削減 04年度実績に対し07年度までに	04年度比0.5%削減	04年度対比 11.75%削減	04年度比1.5%削減	04年度比3%削減
(受入処分高1億円当たり)				
4 力率改善設備の設置 大型電動機を対照に順次実施	今年度更新計画の策定	未達	混練り	混練り
5 悪臭及び騒音に対する排出基準に対し自主基準を設定	05年度中に設定	悪臭:アンモニア 5ppm に対し 4ppm 騒音:昼間 55dB に対し 54dB		
6 フロン拡散防止処分の徹底	エアコンの更新、廃棄時の適正処分委託	更新無し	エアコンの更新、廃棄時の適正処分委託	
7 環境コミュニケーション管理方法の確立と推進・維持	事故緊急時連絡体制表の見直し	対応済み		
	外部への情報開示	対応済み		
8 環境保全活動の推進と委託先への指示の徹底	日常点検リストの作成	未達		
	請負先への情報伝達	未達		
9 環境教育・訓練プログラムの確立と推進・維持	教育訓練計画の作成	教育2回実施		
10 社会貢献活動の推進	製造コンポスの提供によるリサイクルの啓蒙	未達		
	・web site での情報提供	公開中		
	・現場見学の実施	15回実施		
11 肥料効果の実証実験	実験農場での実験推進	継続中		

#### 主要な環境活動計画の内容

- ( 1 ) 総給排水量の削減  
フローレススイッチの設置による節水の推進
- ( 2 ) CO<sub>2</sub>排出量の削減  
設備の有効稼働促進と受注の拡大
- ( 3 ) 排水基準に対する自主管理基準の設定  
悪臭(アンモニア)及び騒音(昼間)に対し自主基準を設定
- ( 4 ) 社会貢献活動の推進  
製品コンポスの啓蒙促進  
website での情報提供
- ( 5 ) 実験農場での実証実験  
東京農業大学との成果発表

#### 活動計画の取り組み結果の評価

- ( 1 ) 受入廃棄物処分量の拡大  
前年同期比(6月～8月) 5.08%増 (2005年8月末現在)  
目 標 達成  
取組内容 組営業案件が集中的に重なり、目標に達成した。排出先の季節要因(冬季廃棄物量減少)などが在るため、目標設定は変更しない。
- ( 2 ) 総排水量を受入処分高比5%削減  
目 標 流量計未設置  
原因対策 今期後半に流量計の設置計画などがある。通年では目標達成をめざす。
- ( 3 ) CO<sub>2</sub>排出量を受入処分高比3%削減  
前年同期比(6月～8月) 11.75%削減(2005年8月末現在)  
(受入処分高 1億円当たり)  
目 標 達成  
取組内容 受け入れ廃棄物処分量の拡大により、受入処分高 1億円当たりの相対比較でCO<sub>2</sub>の削減を達成。しかし、排出先の季節要因(冬季廃棄物量減少)などが在るため、通年実績が出るまで目標設定は変更しない。
- ( 4 ) 力率改善設備の設置  
目 標 未達成  
原因対策 今期後半に更新計画策定がある。通年では目標達成を目指す。
- ( 5 ) 悪臭及び騒音に対する排出基準に対し自主基準を設定  
目 標 達成  
取組内容 悪臭:アンモニア 5ppmに対し 4ppm  
騒音:昼間 55dB に対し54dB  
自主基準の設定により環境法令の遵守に勤める。
- ( 6 ) フロン拡散防止処分の徹底  
目 標 該当無し  
原因対策 該当するエアコン、冷蔵庫の更新が無かった為目標達成は該当無し。
- ( 7 ) 環境コミュニケーション管理方法の確立と推進・維持  
目 標 達成

取組内容 環境方針、環境活動レポートを会社受付に設置。緊急時対策教育を全社員に実施。

(8) 環境保全活動の推進と委託先への指示の徹底

目 標 未達成

原因対策 今期後半に策定予定有。通年では目標達成を目指す。

(9) 環境教育・訓練プログラムの確立と推進・維持

目 標 達成(教育2回実施)

取組内容 環境経営マニュアル内容の説明を全社員に実施。緊急時対策教育を全社員に実施 今後も継続して教育を実施。

(10) 社会貢献活動の推進

目 標 公開中

取組内容 ライブカメラによる処分施設の公開(処分状況の透明性の確保)

(11) 肥料効果の実証実験

目 標 継続中

原因対策 東京農業大学富士農場での実験データ取り終了。公定分析実施中  
分析結果受領後レポート作成予定。

環境関連法令への違反、訴訟等の有無

廃棄物処理法、肥料取締法等に関し、違反は無い。又、違反等の指摘は無く、かつ訴訟等も無かった。